学校番号	320

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新　精選　言語文化（明治書院）						
副教材等	正しく読み・解くための力をつける言語文化　（数研出版株式会社） 基礎から学ぶ　解析古典文法　（株式会社 桐原書店） 新国語総合ガイド（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会生活を送るうえで必要とされる国語力（読解力・表現力）を身につけるための基礎力向上を目指します。
・個々の単元の学習にとどまらず、文章記述（作文）、発表、話し合い（討論）など、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。
・近現代の作品だけでなく、古文、漢文等の古典作品にふれることにより、過去から現代へと繋がる知の流れを体感し、自身の言語表現活動をいっそう高めることができるようになります。
・授業にあたって、予習（本文を読む、語句調べ等）をすることでスムーズに学習に入れるよう準備しておきましょう。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画をしっかり立てて臨んでください。
・読む、書く、調べる、理解する、というそれぞれの学びを重ねることによって、知る前の自分とは違う「あなた自身」と出会えることを望みます。深みのある学びを習得してください。

2　学習の到達目標

・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。
・教材は、生徒に興味を抱かせる題材を精選し、語彙の獲得、正確な漢字の読み書きの能力を上げてゆく。過去の作品に触れることによって、日本文化の基礎を形作る考え方、感じ方を学ぶ。
・文章の精読により、豊かな言語感覚と多様な価値観を養い、互いの意見・感想を交換し批評し合う力を身につけ、他者とのコミュニケーションを円滑に行える力を身につけることを目標とする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	伝統的な言語文化、及び言葉の持つ決まり（文法）、漢字の組み立てについて理解し、知識を身につけている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を組み立て、それにより自身の考え、伝えたいことを正確に伝えられる力を深める。 文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読み取ったりすることによって、自身の感受性、受け取る力を高めてゆく。それにより、自身の考えを深め発展させる能力を身につける。	言葉を通じて他者と関わるだけでなく、言葉の持つ価値への認識を深め、言語表現を磨き、言語文化に対する関心を高めようとする。国語を尊重し、その向上を図ろうとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	古文の世界を楽しむ ［教材］ 『宇治拾遺物語』 「児のそら寝」	a：文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 b[　書　]：自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、表現したいことを明確にしている。 c：古文の表現に親しみ、意欲的に学ぼうとしている。	小テスト	定期考査	ワークシート
	歌物語・和歌による心の交流 ［教材］ 『伊勢物語』 「芥川」 助動詞	a：和歌を理解して親しんでいる。 b[　読　]：主人公の心情を読み取る。 c：主人公のモデルについて知ろうとする。	定期考査	定期考査	ワークシート
	近代の文学 ［教材］ 『羅生門』	a：読書の意義と効用について理解を深めている。 b[　書　]：自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、表現したいことを明確にしている。 c：作品の良さや解釈について考えを深めようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート
二学期	漢文に触れる ［教材］ 漢文入門 『故事成語』	a：我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 b[　読　]：作品や文章の成立した背景を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 c：漢文の基礎知識を学び、深く理解しようとしている。	定期考査	音読	ワークシート

	日記文学 ［教材］ 『土佐日記』 「門出」	a:古典の世界に親しんでいる b[　読　]:作品の背景、成立についても読み取ることができる。 c:暗唱に積極的に取り組んでいる。	定期考査	定期考査	暗唱テスト
	近世の古典 ［教材］ 『おくのほそ道』 「旅立ち」	a:言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 b[　読　]:主人公の心情を読み取る c:現代の旅と江戸時代の旅との共通点・相違点を考えようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート
三学期	日本語の中に生きる漢文 ［教材］ 『論語』	a:古典を読むため必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[　読　]:作品に現れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を理解している。 c:漢文のきまりを理解し、親しもうとしている。	定期考査	音読	暗唱テスト
	軍記物語を読む ［教材］ 『平家物語』 「木曽の最期」	a:古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 b[　読　]:作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c:作品中の人物の心情を不覚理解しようとしている。	ワークシート	グループワーク	ワークシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

年間の各領域時間数

・書くこと　…（ 10 ）時間・読むこと　…【古典】（ 40 ）時間【近代以降の文章】（ 20 ）時間